

4. 地域生活支援事業所ふう

1 利用実績

別紙参照

2 令和6年度利用状況

利用人数 27名（袋井22名、磐田3名、森町2名）

新規人数 0名

退所人数 1名

3 スタッフ会議

4/26（金） ケース検討 事務連絡

7/19（金） ケース検討 事務連絡

10/25（金） ケース検討 虐待防止研修

1/24（金） ケース検討 感染症対策研修

- ・ 定期的にスタッフ会議を開催し、事務連絡とケース検討、研修を行った。
- ・ 支援後、課題が見つかりとその都度話し合いの場をもうけた。

4 環境整備

- ・ 年2回の「花工場」から配布される苗を利用者さんと植え、草取りや水かけを一緒に行った。
- ・ 野菜を育て、収穫、調理をしていただいた。

5 相談員と情報交換

- ・ 個々面談、相談

6 現状

- ・ 本部通信にて、ふうの応援を募ったところ3名の方から声を掛けていただいた。外出支援、日中一時支援を依頼した。
- ・ 土日、長期休暇の依頼が集中する。少ないスタッフで対応するため、スタッフの休みが確保できず体力的、精神的に厳しい。また、本来のふうの在り方である1対1支援ができない日が多々ある。
- ・ 利用回数を増やしたいという声も上がっているが、スタッフ不足のため受け入れ態勢が整わず、場合によってはお断りしなくてはならない。
- ・ 利用者さんの体力維持のため、週一で運動（歩行）を行った。

7 課題

- ・ 次世代の担い手の確保。
現スタッフの平均年齢も高くなる一方であるため、行く先に不安を感じる。法人以外の利用者さんが約半数を占めるため、お互いの信頼関係を築くためにも早めの若いスタッフの採用を希望する。